

文教厚生常任委員会

(徳峰一成委員長)

☆平成28年度 一般
会計補正予算(所
管分)

曾於市はこの数年、
受給者数はおおむね横
バイである。

問 保育園7園にIC
カードに連動した園児
台帳等を作成、管理す
るシステムを導入する
補助、事故予防等ビデ
オカメラ設置補助が計
上された。今後、他の
保育園から要望があれば
対応できるか。

問 3介護事業所に、
それぞれ2台のベッド
に睡眠、覚醒状態等を
感知するシステムを導入
する補助が計上され
た。

今後、他の介護事業
所から要望があれば対
応できるか。

答 今後も可能と思わ
れる。

答 要望があれば対応

問 生活保護費予算の
財源内訳と受給者数に
ついて聞きたい。

答 国が4分の3、市
が4分の1を負担して
いる。7月末現在受給
者は、大隅122名、
末吉119名、財部71
名、全体で312名で
ある。



地盤が陥没した岩北小学校教頭住宅



できる。

問 市が貸与する奨学
金の返済状況について
聞きたい。

答 卒業後のきびしい
雇用の環境、非正規な
ど不安定な労働条件が
影響しているためか、
今年3月末現在、全体
で750万円が未返済
となっている。

問 岩北小学校教頭住
宅の地盤が陥没したた
め、1024万5千円
の改修費が計上されて
いる。

その原因は？ また
改修はどのようなやり
方でおこなうのか。

答 この住宅は26年前
に建築。それまで杉林
であり、伐採後の建築
で基礎工事が十分でな
かったのではないかと
思う。今後の改修のやり方
は、曳家工法で陥没し
た箇所を含め、建物部
分の地盤改良工事をお
こないたい。

意見 ①財部温泉健康
センターはメセナ末吉
が指定管理を受けてい
る。

これまで従業員の労
働条件が守られていな
いことが何回もあった。
現在、正職員7人、

パート4人、アルバイ
ト2人、シルバー人材
センター1人の14人で
仕事にあたっている
の説明があった。今後
指定管理の年度協定書
をしっかりと履行して
従業員の労働条件が確
保されるよう、市は取
り組まれない。

②市民プールの男女の
更衣室のクーラーが故
障しており、今回20
3万6千円の修繕費が
計上された。そのほか、
更衣室は暖房設置の要
望があり検討されたい。

③今回教育委員会関連
では、岩北小学校教頭
住宅、市民プールの改
修費のほか、学校給食
センター、小学校、中
学校、体育施設の修繕
費が計上されている。
今後は、計画的な予算
計上をされたい。

☆曾於市ひとり親家庭
医療費助成金支給条
例の一部改正について

問 条例改正の背景と
改正の内容等について
説明されたい。

答 今年8月から、ひ
とり親家庭の第2子と
第3子の児童扶養手当
が、一部増額となつた。
今回の条例改正はそ
れに伴う改正である。

問 市内のひとり親世
帯の実態について聞
きたい。

答 母子385世帯、
父子42世帯、養育者世
帯6世帯、全体で43
3世帯である。ひとり
親世帯は、この数年お
おむね横バイである。

建設経済常任委員会

(伊地知厚仁委員長)

農林業 畜産振興に関する調査

○曾於市秋季畜産品評会が平成28年8月29日・30日・9月1日に開催され、財部地区35頭、末吉地区51頭、大隅地区34頭が出品され、財部地区13頭、末吉地区20頭、大隅地区16頭が曾於地区秋季畜産共進会への出品が決定した。今年は、6部高等登録群(母牛・娘牛・孫牛)の部門が設けられている。

☆訴えの提訴について(調停・訴訟)

市営住宅の明け渡し、滞納家賃の支払請求を簡易裁判所に提訴するもので(調停)入居者と、市、裁判所の調停委員の立会の下、話し合をして解決を図る。訴訟は、簡易裁判所に提訴し、給料の差し押さえや、住宅の明渡しを強制執行し解決を図る。

☆平成28年度 一般会計補正予算第6号(所管分)

問 商工観光課、思いやりふるさと寄附金推進事業の雑誌広告料についての内容は。

答 東京都内に約23万部発行する地域生活誌(東京リビング)に広告を掲載。

都営三田線の電車内

にふるさと納税のステッカーを張る。全国2461店舗を有する「すかいらく」で、チラシの広告を掲載する。読売新聞東京版に新聞折込で、曾於市の特産品を紹介し、ふるさと納税制度を全国的に図る。

問 耕地課・曾於北部広域農道災害復旧工事について。

答 保安林解除と災害復旧工事を同時に進行する。台風16号でさらに被害が拡大している。一刻も早い開通に取り組んで行きたい。

問 建設課・PFIアドバイザー業務委託料の内容は。

答 PFIとは、公共事業を民間の資金と経営能力、経済能力、技術力を活用して公共施設等の設計・建設・管理・運営を行なう手法

で、今回桜ヶ丘団地をPFI方式で検討したい。その委託料である。

結果 事業の取り組みの説明が、今回の補正に急に出され理解したい。議会もこれから研修会等に参加し勉強する時間を確保するため事業費を減額する修正案が可決。

☆平成28年度 一般会計補正予算第7号(所管分)

問 道の駅及び四季祭市場の管理費の追加分の内容は。

答 浄化槽の設置に伴い地盤改良工事の追加防火シャッターに変更にするため。

街路灯維持管理の陳情

街路灯は市内350基あるがその多くが早急な対応が求められる。地域経済の不況や後継

者不足、高齢化等で廃業となり、空き店舗が多くなっている。将来管理が出来なくなる恐れがあるので行政の支援をいただきたい。(全会一致採択)

意見 将来的には防犯灯、街路灯と合わせて一括管理すべきである。



曾於北部広域農道の災害現場

所掌事務調査

○島根県出雲市

出雲市議会は、議員の利便性向上による審議の深化・ペーパーレス化による経費労務削減目的のため平成25年11月に先進地を研修し、平成26年3月定例会で実証実験に取組んだ。平成26年12月定例会より本格的に導入しタブレットを活用していた。曾於市内も小・中学校にタブレットの導入がされる中、曾於市議会に於いても、全議員が同じ環境条件で、タブレットの統一・活用によるペーパーレス化の目的をはっきりしたうえで進めていくことが大切であると感じた。

○島根県松江市

松江市議会は、市民にわかりやすい議会の実現を目指し平成21年から議会報告会を29会場で開催し、1122人参加があった。平成27年雪による混乱を避けるため開催時期を例年の2月から5月に、会場も29会場から5会場に変更し参加者は249人であった。研修を受け、曾於市議会に於いても、参加者を増やすためには、
 ①会場数を増やし中身の改善を図る。
 ②選挙年齢が18歳以上に引き下げられ、高校生への参加の呼びかけや開催時期、時間を再考して、市民にとって魅力ある議会報告会にしなればと感じた。



所掌事務調査での研修



ペーパーレス化に向けてのタブレット研修

曾於市議会議員・農業委員合同男女共同参画研修

オフィスピュアの高崎 恵さんを講師に迎え、本市の市民一人ひとりが、あらゆる場面で性別問わず居場所と出番と役割があるまちを実現するため、ワークショップを通じて多様性や他者との違いを認め合うことや、誰一人排除せず皆の意見を尊重する話し合いの必要性などについて学ぶことができた。



本会議の様子を傍聴しませんか？

傍聴席は、市役所本庁3階にあります。

議場傍聴者受付（議場傍聴者入口）で傍聴人受付用紙に記入し、受付箱に入れてから、傍聴してください。



本会議の様子をライブ中継しています！

曾於市議会では、インターネット（パソコン・スマートフォン）によるライブ中継と録画放送を行っております。曾於市ホームページより『議会映像配信』のボタンをクリックしてお入りください。

*アドレス <http://www.city.soo.kagoshima.jp/>・・・曾於市ホームページ

*アドレス <http://www.soo-city.stream.jfit.co.jp/>・・・議会中継

12月定例会の予定

| | |
|---------|------|
| 12月2日 | 開 会 |
| 12月6～8日 | 一般質問 |
| 12月22日 | 閉 会 |

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 議会運営委員会

各常任委員会では、9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(山田義盛委員長)

☆曾於市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

問 曾於市内の企業で、この条例に基づき固定資産税の不均一課税(軽減)に該当する企業はあるのか。

答 該当する企業はない。

☆平成28年度 一般会計補正予算(第6号)について(所管分)

問 自治会振興費38万2千円の内容は。

答 地域コミュニティ活性化推進条例の検討委員会の15名の委員の謝礼金が主なものである。

問 自治会振興で、地域コミュニティ活性化推進条例を制定したの

ち、市民向けのハンドブック等を作成し配布するの。

答 自治会長向けの自治会加入促進マニュアル、転入者・未加入者用チラシ、自治会運営用マニュアルを作成する。

問 一般寄附金800万円の内訳は。

答 大隅町出身の西段隆美氏より、市政発展のため、800万円の寄附を頂いた。

問 普通財産管理費99万4千円の増額の理由は何か。

答 財部地区の市有地が、集中豪雨により流失したため、浸食対策工事測量業務委託料が主なものである。

問 現在、市有地の使用目的が明確でない。はつきりさせるべきではないか。

答 復旧するまでには、目的をはつきりさせた

問 企画事務費471万5千円の内容は。

答 ドローン特区申請に関する経費や、関係職員のパイロット養成委託料、ドローンレース大会補助金が主なものである。

問 どのような効果を考えているのか。

答 特区認定により規制緩和となり、ドローンによる農薬散布等の手続きが簡略化される。ドローンレース大会の開催により曾於市のPRや、関連産業の誘致にも取り組む。

問 ドローンレースの内容は。

答 今年の12月に九州大会を栄楽公園で開催したい。企業誘致や特区申請に有利になるようにアピールしたい。

問 クリーンセンター施設整備事業の内容は。

答 来年度からの改良工事に伴い、敷地の拡張造成を行うものである。現在3か所ある資源ごみ等置き場を1か所に集約して、塵芥車等の車庫を入り口付近に移設するものである。

問 財務管財事務費19万3千円の追加の内容は。

答 財部高校跡地活用検討委員会の設置による報償費である。市が公共的に使う事が無償譲渡の条件となっている。市民に幅広く意見を出してもらい、県への交渉に活かしていきたい。

☆平成28年度 一般会計補正予算(第7号)について(所管分)



ドローン